

若手研究者 海外派遣 報告

所属：京都大学医学部附属病院 飯塚裕介

参画事業：革新的がん医療実用化研究事業

派遣先：Princess Margaret Hospital (PMH)

Educational Programs Sunnybrook Health Sciences Center (SHSC)

このたび、AMED 若手研究者支援をいただき、カナダのトロントの病院で研修を行いました。研修期間は2019年11月26日から12月14日までの3週間でしたが、最初の1週間はSunnybrook Hospital、その後2週間はPrincess Margaret Hospital を訪問しました。研修の主な目的は現在行っているDynamic WaveArc 照射法を脊椎に対する体幹部定位放射線治療 (SBRT) に応用するために、実際の脊椎 SBRT の臨床を学ぶことでした。両病院は脊椎 SBRT では世界的に有名な施設で、年間100件以上の施行実績があります。病院では脊椎 SBRT の適応判断、CT シミュレーション、治療計画、治療の実施までそれぞれ担当している専門の方々に教えていただき、詳細まで理解することができました。帰国後は脊椎に対する SBRT を開始するために、プロトコル作成や関係各科の協力を得るべく活動しているところです。

脊椎以外にも、私が専門としている肺や肝臓の SBRT についてもディスカッションする機会がありました。使用機器や線量処方などの細かい違いはありますが、放射線治療については大きく変わることはなく、相互に理解を深めることができました。

また、カナダの医療関係者・患者さんとの交流の中でカナダの文化や医療制度についての見聞を深めることができたのも大きな収穫でした。カナダは移民が多い社会ということもあるのか、周りの人々は快く受け入れてくれて大きなストレスなく研修することができました。



Fig.1 Sunnybrook Hospital 外観



Fig.2 Princess Margaret Hospital 外観

※工事中のためスペースが限られており病院の機能しかなく、医師の居室などは隣のビルにある。